

Windows® 95 Macintosh® USER'S MANUAL

この速さは神業か

神速囲碁基道

 SystemSoft

 SystemSoft

神速囲碁道

ユーザーズマニュアル

目次

一 ゲームをはじめる前に

- 1 パッケージの中身を確認してください2
- 2 「神速囲碁道」をプレイするための環境3
 - Windows95日本語版用に必要な動作環境3
 - Macintosh用に必要な動作環境5
- 3 インストール6
 - Windows95版用のインストール7
 - Macintosh用のインストール8
- 4 アンインストール9
 - Windows95版用のアンインストール9
 - Macintosh用のアンインストール10

二 ゲームのはじめ方と終わり方

- 1 ゲームのはじめ方12
 - ゲームのはじめ方12
 - ゲームウィンドウ14
 - 囲碁入門講座117
- 2 ゲームデータの保存と読み込み19
 - ゲームデータの保存19
 - ゲームデータの読み込み20
- 3 ゲームの終了21

三 対局

- 1 対局の開始と勝利判定23
 - 対局を開始する23
 - 碁石を打つ23
 - ヒント24
 - パスする25
 - マッタをする25
 - 投了する25
 - 対局を中止する25
 - 勝利判定26
 - 囲碁入門講座227

四 手合い割とコンピュータの設定

- 1 手合い割36
 - 対局者を設定する37
 - 手合い割を設定する37
 - 囲碁入門講座338
- 2 コンピュータの強さ(レベル)と棋風(思考タイプ)の設定40
 - コンピュータの強さ(レベル)を設定する40
 - コンピュータの棋風(思考タイプ)を設定する40
- 3 そのほかの設定41
 - 着手番号を表示する/表示しない41
 - 効果音を鳴らす/鳴らさない41
 - BGMを演奏する/演奏しない42
 - Macintosh版での碁盤上の座標42

五 棋譜の再現と入力

1 棋譜の再現	44
棋譜の自動再生	44
棋譜の再生コントロール	45
再生速度の調整	46
2 棋譜入力と編集	48
棋譜の入力	48

ゲームをはじめる前に

- 1) Microsoft Windows 95日本語版が動作する環境。
- 2) 対応機種
PC-9821シリーズ、
IBM PC/AT/PS/2/100%互換機
- 3) CPU
Pentium 75MHz以上のCPU搭載機 (Pentium 10MHz以上のCPUは動作できません)。
- 4) メモリ (RAM)量
16MB以上 (24MB以上を推奨)。
- 5) ハードディスク
「本プログラム」は、ハードディスクにインストールしてプレイします。「本プログラム」をインストールするハードディスクには、25MB以上の空き容量が必要となります。

1 パッケージの中身を 確認してください

『神速囲碁道』のパッケージには次のものが入っています。
まず最初にご確認ください。

- | | |
|--------------------|----|
| 1) ユーザーズマニュアル(本書) | 1冊 |
| 2) ゲームディスク(CD-ROM) | 1枚 |
| 3) ユーザー登録ハガキ/保証書 | 1枚 |

2 『神速囲碁道』をプレイ するための環境

『神速囲碁道』には、Windows95版用およびMacintosh用があります。

『神速囲碁道』をプレイするためには、それぞれ次の動作環境が必要です。

Windows95日本語版用に必要な動作環境

- 1) Microsoft Windows95日本語版が動作する環境。
- 2) 対応機種
PC-9821シリーズ。
IBM PCおよびその100%互換機。
- 3) CPU
Pentium75MHz以上のCPU搭載機種 (Pentium100MHz以上のCPU搭載機種を推奨)。
- 4) メモリ(RAM容量)
16MB以上(24MB以上を推奨)。
- 5) ハードディスク
『神速囲碁道』は、ハードディスクにインストールしてプレイします。『神速囲碁道』をインストールするハードディスクには、25MB以上の空き容量が必要です。

6) CD-ROMドライブ

2倍速以上のCD-ROMドライブが必要です。

7) 表示環境

640×480ドット以上の解像度をもち、256色表示が可能な表示環境が必要です(1024×768ドット以上で256色を表示できる環境を推奨)。

8) マウス

Windows95版で使用できるマウスが必要です。

9) 音源

ゲーム中での音楽／効果音を聞くためには、Windows95版に対応している内蔵または外付のMIDI音源およびPCM音源が必要です。『神速囲碁道』では、効果音はPCM音源によって、BGMはMIDI音源によって聞くことができます。音源がない環境でも『神速囲碁道』はお楽しみいただけますが、音源をご利用いただくと、よりゲームの臨場感が増します。

Macintosh用に必要な動作環境

1) 漢字Talk7.5～MacOS8が動作する環境。

Quick Timeバージョン2.0以上が必要です。

2) 対応機種

Power PCを搭載したMacintoshまたはPerforma

3) メモリ (RAM容量)

8MB以上の空きメモリ (12MB以上を推奨)。

4) ハードディスク

『神速囲碁道』をインストールするハードディスクには、15MB以上の空き容量が必要です。

5) CD-ROMドライブ

2倍速以上のCD-ROMドライブが必要です。

6) 表示環境

640×480ドット以上、256色のカラー表示が可能な環境。

7) Macintosh対応のマウスが必要です。

3 インストール

『神速囲碁道』は、ハードディスクにインストールしてプレイします。

CD-ROMなどからハードディスクに、プログラムやデータを転送保存して、各種設定を行いゲームが動作するようにすることをインストールと呼びます。

ハードディスクへのインストールは、次のようにして行います。

⚠ 注意

インストールを実行する前には、ハードディスクに保存されているプログラムやデータをバックアップしておくことをお勧めします。

万一、インストールによって障害が発生した場合、弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Windows95版用のインストール

『神速囲碁道』をインストールする際には、起動されているプログラムをすべて終了させてから実行してください。

操作手順 ●

① CD-ROMドライブに『神速囲碁道』のCD-ROMを挿入します。

インストール画面が表示されます。

② [インストール] を選択します。

インストーラの画面が表示されます。

③ 表示される文章を確認しながら、[次へ] を選択してインストールを進めてください。

インストール先のフォルダを指定する場合には指定してください。

インストールが終了すると確認のメッセージが表示されます。

④ [OK] を選択します。

以上で『神速囲碁道』のインストール作業が終了しました。

Macintosh用のインストール

操作手順

- ①CD-ROMドライブに『神速囲碁道』のCD-ROMを挿入します。
『神速囲碁道』インストーラのアイコンが表示されます。
- ②インストーラのアイコンをダブルクリックします。
タイトル画面が表示されます。
- ③ [続ける] を選択します。
- ④インストールする場所を指定するウィンドウが開きます。
インストール先のハードディスクとフォルダ名を選択または入力します。
[インストール] を選択します。
インストールが開始されます。
インストールが成功するとメッセージが表示されます。
- ⑤ [終了] を選択します。

以上で『神速囲碁道』のインストール作業が終了しました。

4 アンインストール

インストールしたゲームをハードディスクから削除することをアンインストールと呼びます。

『神速囲碁道』のアンインストールは、次の手順で行います。

Windows95版用のアンインストール

操作手順

- ①スタートボタンをクリックし、[設定] を選択して次に [コントロールパネル] をクリックしてください。
- ② [コントロールパネル] 中の [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックすると、[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] が表示されます。
- ③ [セットアップと削除] 欄の下部には、自動的に削除が可能なアプリケーションの一覧が表示されます。そこから『神速囲碁道』を選択し、次に「追加と削除」をクリックしてください。ファイルを削除するダイアログボックスが表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。
- ④ [プログラムのコンピューターからの削除] と書かれたウィンドウが表示され、自動的にダイアログボックスが開きますので、ここで「はい(Y)」をクリックすると、自動的に『神速囲碁道』のアンインストールが実行されます。アンインストールの完了が知らされたら、[OK] をクリックしてください。

これで、ハードディスクから『神速囲碁道』に関する
一切のプログラムが削除されます。

Macintosh用のアンインストール

操作手順 ●

①パソコンの電源を入れ、Macintoshを起動します。

②『神速囲碁道』のフォルダをゴミ箱に捨てます。

以上で『神速囲碁道』のアンインストール作業が終了しま
した。

ゲームのはじめ方と 終わり方

1 ゲームのはじめ方

『神速囲碁道』は以下の方法でします。

ゲームのはじめ方

次のようにしてプレイを行います。

操作手順

●Windows95版の場合

Windows95版では、次の順番で選択していき『神速囲碁道』を起動します。

- ① **開始スタート** を左クリックし、[プログラム] をポイントします。
- ②表示されたメニューのなかの「SystemSoft Game」にマウスポインタを合わせます。
- ③登録された『神速囲碁道』のアイコンにマウスポインタを合わせ左クリックします。
ゲームウィンドウが表示されます。

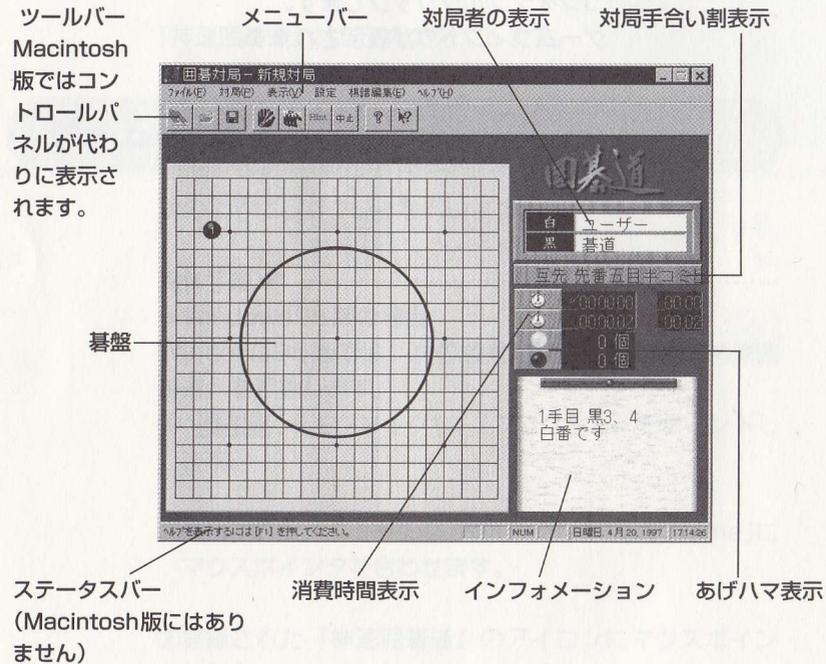
●Macintosh版の場合

Macintosh版では、次の順番で選択していき『神速囲碁道』を起動します。

- ①ハードディスクの中から、『神速囲碁道』と書かれたフォルダをダブルクリックします。
- ②表示されたメニューのなかから、『神速囲碁道』のアイコンをダブルクリックします。
ゲームウィンドウが表示されます。

ゲームウィンドウ

『神速囲碁道』は次のゲームウィンドウ内でプレイを行います。
(本マニュアルではWindows95版の画面を使用して説明します)。



碁盤

『神速囲碁道』のプレイで使用する碁盤は19路盤です。
表示されている碁盤上の縦線と横線の交点にマウスポ
インタを合わせ、クリックすることで着手します。

メニューバー

『神速囲碁道』をプレイする際に使用する機能が収められ
ています。

項目を選択(クリック)すると、プルダウンメニューが表示
され、さらに細かな機能が表示されます。このなかから
機能を選択します。

ステータスバー (Macintosh版にはありません)

簡単なメッセージなどが表示されます。

メニューバーから[表示]-[ステータスバー]を選択するこ
とで、ステータスバーの表示/非表示を切り替えること
ができます。チェックマークが[ステータスバー]の項目前
に付いているときが表示、付いていないときが非表示で
す。



注意

本マニュアルで、[表示]-[ステータスバー]というよう
に書かれている場合には、メニューバーの項目(例では
[表示])を選択し、表示されたプルダウンメニューから、
さらに項目(例では[ステータスバー])を選択することを
表しています。

ツールバー (Windows95版)

コントロールパネル (Macintosh版)

メニューバーに収められた機能のなかから、プレイの際
に頻繁に使われる機能を取り出したのがツールボタン
(Macintosh版ではコントロールボタン)です。ボタン
はツールバー (Macintosh版ではコントロールパネル)
に並べられています。

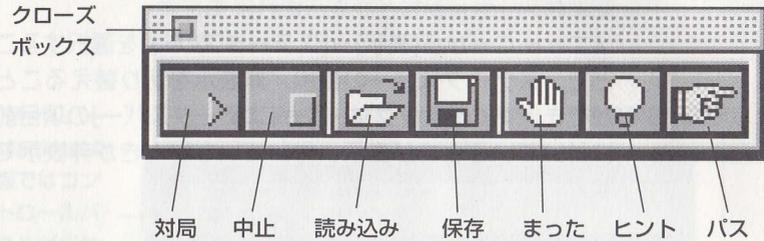
ボタンを選択すると、機能が実行されます。

Windows95版ではマウスポインタをボタン上に合わせ
ると、ボタンの機能が表示されます。

Windows95版では、[表示]-[ツールバー]を選択する
ことで表示/非表示の切り替えができますが、
Macintosh版ではできません。Macintosh版では、ク

ローズボックスをクリックすることでコントロールパネルが閉じ、[設定] - [コントロール] を選択することでコントロールパネルが表示されます。

Macintosh版のコントロールパネル



対局者の表示

対局者名が表示されます。

対局者名の入力と、白石/黒石どちらをもつかの選択は、[設定]-[手合い割]で行えます。(→「四-1 手合い割」)

対局手合い割表示

手合い割の内容が表示されます。(→「四-1 手合い割」)

消費時間表示

白番/黒番それぞれの、プレイに消費している総時間と、一手を打つのに消費している時間を表示します。

あげハマ表示

白番/黒番それぞれのあげハマの数を表示します。

インフォメーション

対局が終了したときの勝利判定などが表示されます。

着手された石の碁盤上での座標も表示されます。

その際には、Windows95版では、左上が1(縦)、1(横)となり、Macintosh版では左下が1(縦)、1(横)となります。

囲碁入門講座 1

●19路盤

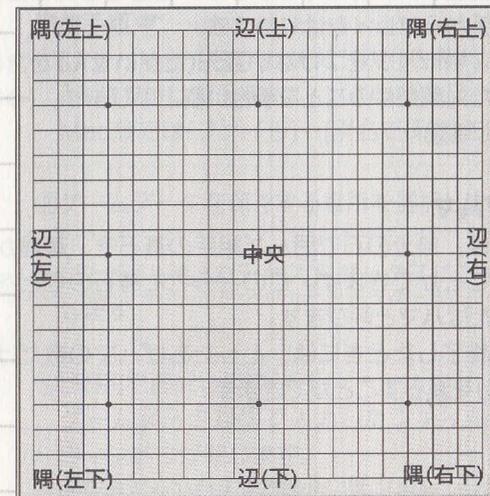
縦横それぞれに19本の線が引かれている碁盤を19路盤と呼びます。

囲碁は縦横の線が交わった点に、二人のプレイヤーが交互に碁石を置いてゲームを進めていきます。この交点は、自分の碁石をつなげて、相手が碁石を置けない(または置いてもとられる)領域をつくる(囲む)ことで、**地(じ)**と呼ばれるようになります。対局終了時に地の多いプレイヤーが勝ちとなります。

19路盤では交点が $19 \times 19 = 361$ あることとなります。囲碁で一般に使用されるのはこの19路盤で、ほかに練習用としてより小さな9路盤、13路盤があります。『神速囲碁道』では19路盤を使用してプレイします。

碁盤上にある黒い点は**星(ほし)**と呼ばれ、碁石を置く目安にされます。

碁盤上は、星を基準にして**隅(すみ)**/ **辺(へん)**/ **中央(ちゅうおう)**に領域が分けられます。中央にある星を**天元(てんげん)**と呼びます。



●着手

碁石を碁盤上に置くことを**着手(ちゃくしゅ)**といいます。また**打つ**ともいいます。

碁石を1つ打つことを**一手(いって)**といいます。碁盤上にある碁石は**子(し)**と呼んで数え、碁盤上からとった碁石や、勝敗を表すときには**目(もく)**と呼んで数えます。

●対局

囲碁をプレイすることを**対局(たいきょく)**といいます。対局では、実力上位のものが白石を持ち(**白番**)、下位のもの黒石をもって(**黒番**)、先に着手します。

『神速囲碁道』では、Windows95版では初期設定でユーザーが白石を持つようになっています。Macintosh版では黒石を持つようになっています。

●手合い割

対局者に実力差がある場合には、白石を持つ実力上位者にハンディキャップをつけます。プレイ開始前に碁盤上の星に2個(2子)以上の黒石を置き、黒石を持つ実力下位の対局者を有利にすることでハンディキャップとします。これを**置碁(おきご)**と呼びますが、置碁をした場合には、白の着手からプレイをはじめます。

ハンディキャップをつけない**互先(たがいせん)**を含めて、こうした対局条件のことを**手合い割**と呼びます。(→「四-1 手合い割」)

●あげハマ

囲碁では、自分の石で囲んだ相手の碁石を、碁盤から取り除くことができます。このとられた碁石のことを**あげハマ**または**ハマ**と呼びます。

対局が終了したときには、とったあげハマの数だけ相手の地(じ)を減らすことができます。

2 ゲームデータの保存と読み込み

ゲームデータの保存と、読み込みは次のようにして行います。

ゲームデータの保存

対局途中、または対局終了後のデータを保存することができます。

1) 新規のファイル名でゲームデータを保存する場合

新しくゲームデータを保存する、または別のファイル名で保存するには、次のようにして行います。

操作手順

- ① [ファイル] - [名前を付けて保存] を選択します。
「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。
Mac版では [ファイル] - [別名で保存] を選択します。
- ② ゲームデータを保存する場所を選択します。
- ③ 「ファイル名」のテキストボックスにファイル名を入力します。
- ④ [保存] を選択します。
ゲームデータが③で入力したファイル名で保存され、ウィンドウが閉じます。
保存をキャンセルする場合には、[キャンセル] を選択します。

2)既にあるファイルへの上書き保存

既にあるファイルに上書き保存するには、次のようにして行います。

操作手順

①ツールバーの[保存]ボタン、または[ファイル]―[上書き保存]を選択します。

Macintosh版ではコントロールパネルの[保存]ボタン、または[ファイル]―[保存]を選択します。

ゲームウィンドウのタイトルバーに表示されているファイル名に、ゲームデータが上書き保存されます。

ゲームデータの読み込み

保存してあるゲームデータを読み込んで、再開または再現するには（Macintosh版では読み込み）、次のようにして行います。

①ツールバーの[開く]ボタン、または[ファイル]―[再開、再現]を選択します。

「開く」ウィンドウが表示されます。

Macintosh版ではコントロールパネルの[読み込み]ボタン、または[ファイル]―[読み込み]を選択します。

②ゲームデータが保存されている場所を選択します。

③再開、または再現する（Macintosh版では読み込む）データのファイルをダブルクリックします。またはファイルを選択して[開く]を選択します。

ゲームデータが読み込まれ、ウィンドウが閉じます。

読み込みをキャンセルする場合には、[キャンセル]を選択します。

3 ゲームの終了

『神速囲碁道』を終了するには、次のようにして行います。

操作手順

①[ファイル]―[アプリケーションの終了]を選択します。

Macintosh版では[ファイル]―[終了]を選択します。

ゲームウィンドウが閉じて『神速囲碁道』が終了します。

現在の最新対局データが保存されていない場合には保存するかどうかの確認のメッセージが表示されます。

対局

1

対局の開始と勝利判定

対局を開始する

対局を開始するには、ツールバーの[新規対局]ボタン、または[対局]→[対局]を選択します。

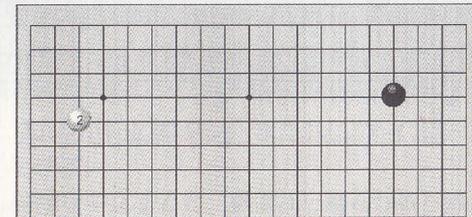
Macintosh版ではコントロールパネルの[対局]ボタン、または[ファイル]→[対局]を選択します。

初期設定での白番／黒番は、Windows95版ではプレイヤーが白番、Macintosh版ではプレイヤーが黒番になっています。白番／黒番の変更、または手合い割の設定は、[設定]→[手合い割]で行えます。(→「四-1 手合い割」)

碁石を打つ

碁石を打つには、表示されている碁盤上の縦線と横線の交点にマウスポインタを合わせ、クリックします。

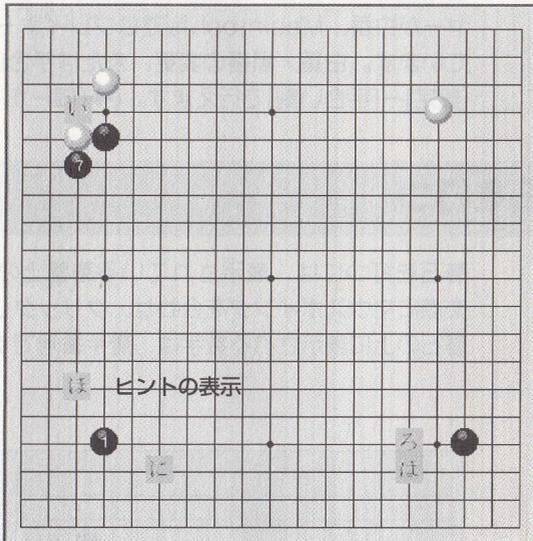
碁石の上に表示される数字は、着手番号です。



着手番号は、[設定]－[着手番号]を選択することで、着手順にすべての碁石に表示する(「着手番号」にチェックマークが付いている場合)、または最新の一手だけに表示する(「着手番号」にチェックマークが付いていない場合)ことができます。

ヒント

ツールバーの[ヒント表示]ボタン、または[対局]－[ヒント] (Macintosh版ではコントロールパネルの[ヒント]ボタン、または[アクション]－[ヒント]) を選択すると、最良と思われる手が、最大5つまで「いろは」の文字で表示されます (Macintosh版ではH1～H5)。
碁盤上をクリックすると、ヒントの表示が消えます (Macintosh版では碁石が打たれます)。



パスする

打つ手がない場合には、ツールバーの[パス]ボタン、または[対局]－[パス] (Macintosh版ではコントロールパネルの[パス]ボタン、または[アクション]－[パス]) を選択します。

対局者の双方が連続してパスをすると、対局が終了し自動的に勝利判定が行われます。

マッタをする

ツールバーの[マッタ]ボタン、または[対局]－[まった] (Macintosh版ではコントロールパネルの[まった]ボタン、または[アクション]－[まった]) を選択すると、マッタをすることができます。

マッタをすると、一手だけ前の状況に戻すことができます。一手以上前には戻せません。

投了する

負けたと判断した場合には、投了(とうりょう)します。
[対局]－[投了] (Macintosh版では[アクション]－[投了]) を選択すると、投了となります。
インフォメーションに勝利判定が表示されます。

対局を中止する

対局を中止する場合には、ツールバーの[中止]ボタン、または[対局]－[中止] (Macintosh版ではコントロールパネルの[中止]ボタン、または[ファイル]－[中止]) を選択します。

対局を中止すると、盤面から碁石が取り除かれます。

勝利判定

勝利判定は、対局者の地とあげハマの数を自動的に計算してインフォメーションに表示します。

白番／黒番の地は碁盤上で、それぞれの碁石の色の四角で表示されます。

四角形をクリックすると、白番の地は黒番のものに、黒番の地は白番のものに変わります。変更するとインフォメーションに表示されている勝利判定の結果も、変更に応じて変わります。



注意

『神速囲碁道』では、一回の対局につき最大499手まで打つことができます。500手以上になった場合、『神速囲碁道』はゲームを終了します。ゲームを終了した後に再び『神速囲碁道』をプレイしたい場合は、再度『神速囲碁道』を起動してください。

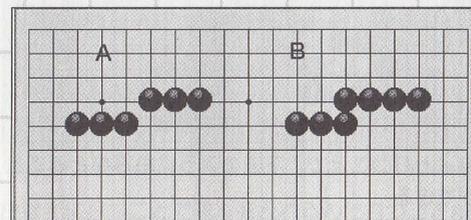
囲碁入門講座 2

● 囲碁の基本ルール

囲碁の基本ルールはとても簡単です。次のルールしかありません。

- ①二人の対局者が一手ずつ交互に打っていく。
- ②碁石は縦横の線の交点に打つ。一度打った碁石を移動することはできない。
『神速囲碁道』では、マッタすることで一手前の状態に戻すことができます。
- ③碁石を連続させることを、ツギと呼ぶ。縦横に連続して打つことで碁石はつがれ、斜めに打ってもつがれたことにはならない。

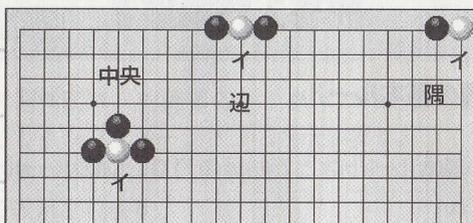
例)



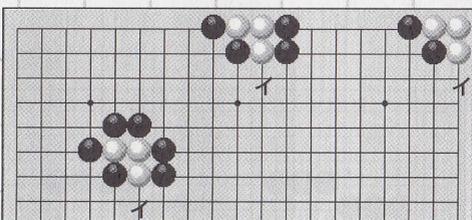
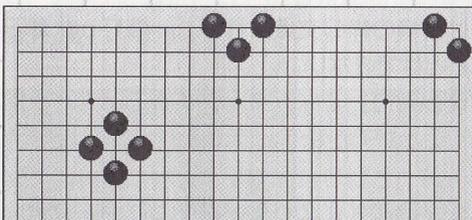
Aの場合、斜めに連続しているので黒の碁石はつがれていない。Bの場合、縦横に連続しているため黒の碁石はつがれている

- ④相手の碁石を自分の碁石で囲み、縦横に相手が碁石を打てない(つげない)状態にすると、相手の碁石を碁盤上からトルことができる。
次の手で碁石をとれる手を打つことをアタリと呼ぶ。

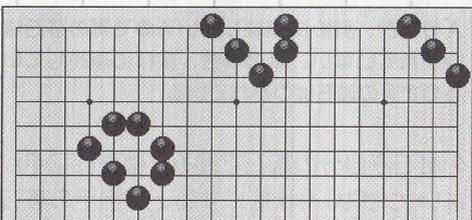
例)



黒イと打つことで、下図のように白石をとることができる

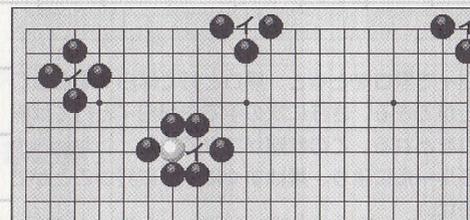


黒イと打つことで、下図のように白石をとることができる



④ 碁石をとられる状態にある場所には、打つことができない。これを**禁じ手**と呼ぶ。
『神速囲碁道』では、禁じ手となる場所には打てないようにしています。

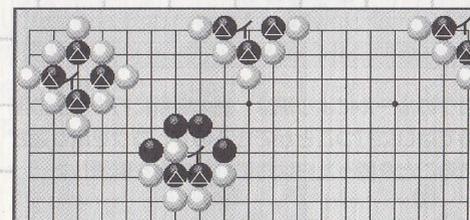
例)



白はイに打つことができない

ただし、その場所に打つことで相手の碁石をとれる場合には打つことができる。

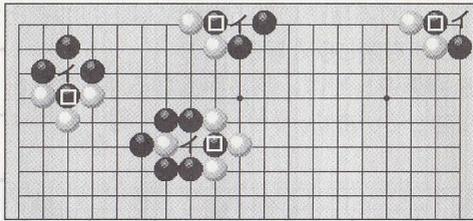
例)



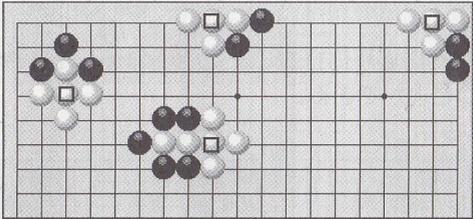
白はイに打つことで黒△をとれるので打つことができる

⑤ 互いに碁石を取り合える状態を**コウ**と呼ぶ。コウで碁石をとられた場合には、一手ほかの場所に打たないとコウに打つことはできない。
このルールがないと、永遠に碁石を取り合うことにもなりかねない。そのためにゲームが進行しなくなることを防ぐルールである。

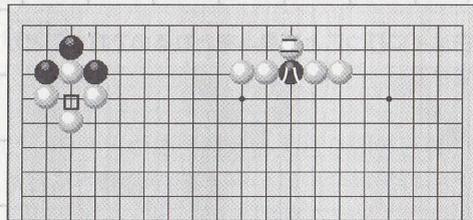
例)



白いで黒口をとると、黒口と打てば白イをとることができる。さらに次の手で白が白イと打てば黒口をとれる。この状態がコウである。しかしコウのルールにより、黒はすぐに黒口に打つことができない



コウのルールにより黒は、別の場所に打つ。次の黒番では口に打つことができるので、コウを取り返されることを嫌った白は口に打ちコウを解消した



黒が別の場所に打たなければならないときに、黒ハと白の碁石のつながりを絶つ場所に打つ。白はこれに対応して白二と打った。次の手で黒は口に打ちコウを取り返すことができる。コウを取り返すための黒ハのような手をコウダテと呼ぶ

⑥自分の碁石をついで、相手が碁石を打てない(または打ってもとられる)地(じ)を囲み、対局終了時に相手よりも地が多い場合に勝利する。

この際、相手からとった碁石(あげハマ)は、相手の地を埋める(減らす)のに使われる。

自分の地のなかで孤立している相手の碁石は、**立ち枯れ**といって対局終了時にとることができ、あげハマに加えられる。

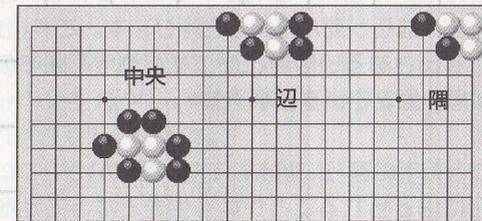
●囲碁の進行

一般に囲碁は次のような手順で対局が進みます。

①布石を打つ

対局を開始したころには、碁石を散らして打ちます。これはより多くの地をとるための準備で**布石(ふせき)**と呼びます。

同じ数の地を囲むのに必要な碁石の数は、隅、辺、中央の順で多くなっていき効率が悪くなります。そのため布石は隅、辺、中央の順で打たれていくのが一般的です。



同じ形で打たれている白3子をとるのに、中央では黒7子が必要だが、辺では5子、隅では3子で済む

②碁石のつながりを伸ばす

布石がすむと、碁石をついで自分の地を囲んでいきます。この際、連続して碁石を打つと、手数がかかり効率的ではありません。

そのため、一般的には少し離して打って、いつでもつげるようにしながら碁石のつながりを伸ばしていきます。その打ち方には、次のような種類があります。

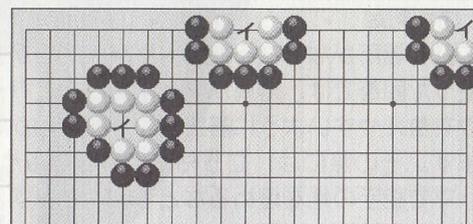


③攻防

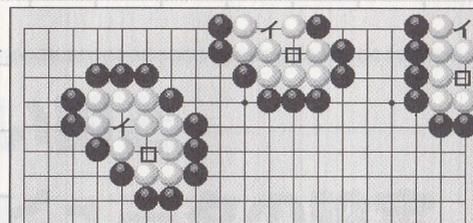
囲碁は地を相手より多くとるゲームですから、やがては相手の碁石と隣接して、地を取り合うこととなります。このとき相手の碁石をとる、あるいは自分の碁石をとられないようにしながらより多くの地を確保できるようにしていきます。

こうした攻防の結果、碁石がやがてとられる状態にあることを、碁石が**死**んでいると呼びます。これに対し、とられない、あるいは碁石がつながり地を囲むのに使える状態を**生**きていると呼びます。

ぐると相手の碁石に囲まれても、**眼(め)**が2つ以上ある場合にはとられることなく生きとなって地を確保することができます。眼とはそこに打つと碁石をとられる状態にある場所のことです。



眼が1つしかない場合。黒イと打つことで白石をすべてとることができる。そのために白の石は死んだ状態にある



眼が2つある場合。禁じ手のルールにより、黒がイとロに打つことはできない。そのため白石は周囲を囲まれていても生きている状態にあり、地を確保している

④ヨセ

対局が進み、ほぼ互いの地が見えたなら、できるだけ自分の地を増やし、相手の地を減らすようにします。これを**ヨセ**といいます。

⑤終局と勝利判定

互いに打つ場所がなくなると、対局が終了します。碁盤を使った囲碁では、対局が終了すると、それぞれの地の数を数えやすいように碁盤上の碁石を動かして整地します。その際には、立ち枯れの碁石を取り除き、あげハマで相手の地を埋めるなどしていきます。そうして互いの地を数え、地が多いほうを勝ちとします。

『神速囲碁道』では、この作業で得られる勝敗結果をコンピュータが計算によって行います。勝利判定は、インフォメーションの表示部に表示されます。

四

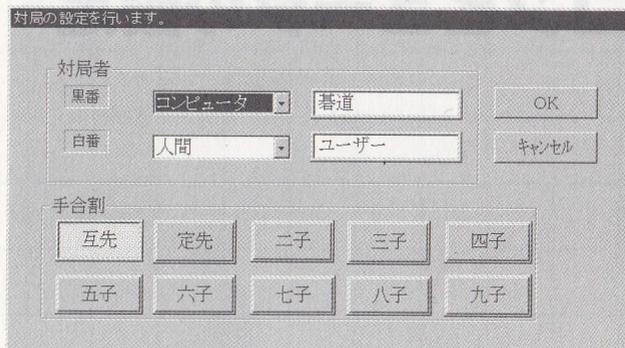
手合い割と コンピュータの設定

1 手合い割

『神速囲碁道』では、対局者の設定、白石／黒石を持つ対局者(白番／黒番)の設定、手合い割を、次の方法で行います。

操作手順

- ①[設定]－[手合い割]を選択します。
Macintosh版では[設定]－[手合い割...]を選択します。
手合い割を設定するウィンドウが開きます。



- ②「対局者」「手合い割」(詳細はあとの項目で説明しています)を設定し、[OK]を選択します。
ウィンドウが閉じます。

新たに設定した手合い割が、次回からの対局の設定となります。

対局者を設定する

「黒番」「白番」それぞれについて、対局者設定ボックスの▼をクリックし、メニューのなかから「人間」「コンピュータ」を選択します。

人間とコンピュータだけでなく、人間と人間が対局することもできます。

コンピュータとコンピュータは、対局できません。

対局者設定ボックスの横にあるテキストボックスに対局者名を入力することができます。テキストボックス内をクリックして入力します。

手合い割を設定する

「手合い割」に表示されているボタンを選択します。

『神速囲碁道』では、10種類のなかから手合い割を選択できます。

【互先】

対局者の実力が同等の場合に選択します。

黒番から着手します。

先番五目半コミ出しで勝利判定がされます。

【定先】

対局者の実力差が最も少ない場合に選択します。

黒番から着手します。

定先では、コミなしで勝利判定がされます。

【二子】～【九子】

対局者の実力差に応じて、置碁(おきご)する碁石の数を選択します。

白番から着手します。

囲碁入門講座 3

●先番五目半コミ出し

互先(たがいせん)では、先に打つほうが有利になるので、黒番(先番)に**コミ出し**と呼ばれるハンディキャップがつけられます。『神速囲碁道』では、勝利判定の際に、5目半の地が白番にプラスされます。半というのは**ジゴ**と呼ばれる引き分けにしないための目数です。

●定先

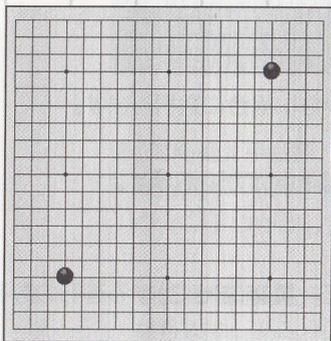
先(せん)とも呼びます。先に打つ黒番に勝利判定でハンディキャップをつけず(コミなし)、黒番が先に打つことで白番のハンディキャップとします。

●置碁

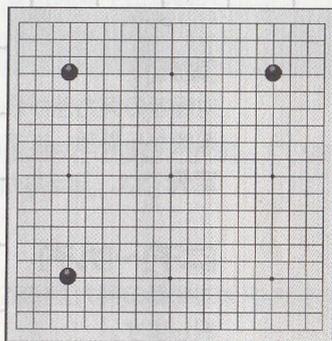
対局前に、あらかじめ黒石を碁盤上に置いておくことを**置碁(おきご)**といいます。これによって白番のハンディキャップとします。

『神速囲碁道』では、二子から九子までの置碁を選択できます。

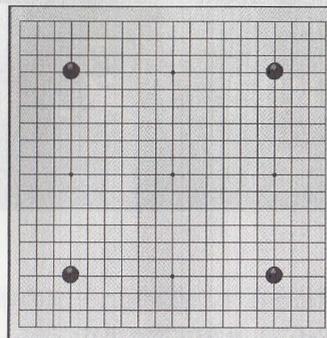
碁石が置かれるのは、次のように星の上に置かれます。



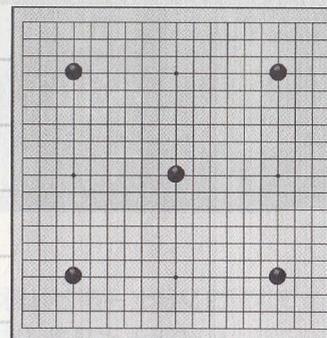
二子



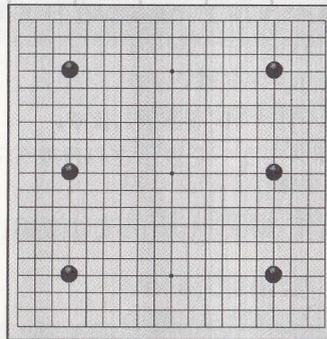
三子



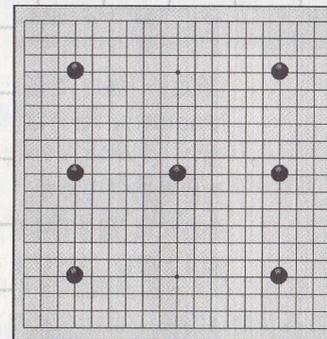
四子



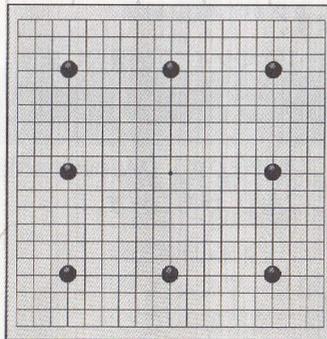
五子



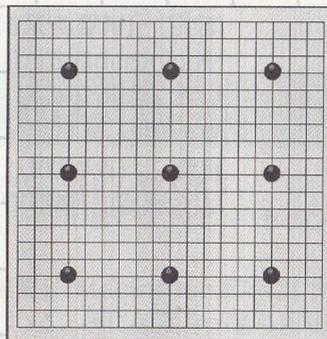
六子



七子



八子



九子

2

コンピュータの強さ（レベル）と棋風（思考タイプ）の設定

コンピュータと対局するときには、コンピュータの強さ（レベル）と棋風（思考タイプ）を設定できます。

コンピュータの強さ（レベル）を設定する

[設定]－[強さ]を選択します。

Macintosh版では[設定]－[レベル]を選択します。

強さ（レベル）の度合いがメニューで表示されますので、強さを選択します。

強さには[最強][標準][弱い]（Macintosh版では[初級][中級][上級]）があります。

コンピュータの棋風（思考タイプ）を設定する

[設定]－[棋風]を選択します。

Macintosh版では[設定]－[思考タイプ]を選択します。

棋風（思考タイプ）がメニューで表示されますので、棋風を選択します。

棋風には[攻め型][バランス型][守り型]（Macintosh版では[攻撃型][守備型][バランス型]）があります。

3

そのほかの設定

対局時の、着手番号表示、効果音、BGMを設定できます。

着手番号を表示する／表示しない

最新の一手の碁石上に着手番号を表示する／表示しないを切り替えます。

[設定]－[着手番号]を選択します。

チェックマークが[着手番号]の項目前に付いているときには、すべての着手に番号が表示されます。付いていないときには最新の着手のみに表示されます。

Mac版では[設定]－[着手を点滅]を選択することで、最新の着手を点滅させる／点滅させないを切り替えることができます。

チェックマークが[着手を点滅]の項目前に付いているときには点滅されます。

効果音を鳴らす／鳴らさない

効果音を鳴らす／鳴らさないを切り替えます。

[設定]－[効果音]（Macintosh版では[設定]－[サウンド]）を選択します。

チェックマークが[効果音]（Macintosh版では[サウンド]）の項目前に付いているときに効果音が鳴ります。付いていないときには鳴りません。

Windows95版の効果音には「獅子おどし」の音も含まれます。

BGMを演奏する／演奏しない

対局中にBGMを演奏する／演奏しないを切り替えます。
[設定]－[BGM]を選択します。
選曲メニューとして[なし／BGM1／BGM2／BGM3／BGM4]が表示されます（Macintosh版では[BGMOFF/BGM3/BGM1/BGM2/BGM4]）。
選択した項目にはチェックマークが付きます。
[なし]（Macintosh版では[BGM OFF]）を選択すると演奏しません。
[BGM1]から[BGM4]までの項目をひとつ選択すると、BGM 4曲のなかから1曲を選んで演奏させることができます。
Windows95版でBGMを聞くためには、Windows95版対応の内蔵または外付のMIDI音源が必要です。

Macintosh版での碁盤上の座標

Macintosh版では、碁盤の脇に数字が表示されており、碁盤上に打たれた石の座標を確認できます。
座標は、縦横に19本ある線の交点を意味しています。
碁盤の左下が1（縦）、1（横）、または1（縦）、A（横）となります。
横座標を数字にするかアルファベットにするかは、[設定]－[数字表示]を選択するかで行えます。

五

棋譜の再現と入力

1

棋譜の再現

対局したあとのゲームデータ(棋譜)、または新聞や雑誌を見ながら入力した棋譜*(→「五-2 棋譜入力と編集」)を、着手順に再現することができます。

※Windows95版のみの機能です。



注意

棋譜を再現するためには、ファイルとして保存されていなければなりません。

棋譜の自動再生

次の操作によって棋譜を自動再生できます (Macintosh版では自動再生を行いません)。

操作手順☛

①[設定]ー[自動再生]を選択し、[自動再生]の項目前にチェックマークをつけます。

②ツールバーの[開く]ボタン、または[ファイル]ー[再開、再現]を選択し、表示されたウィンドウで棋譜のファイルをダブルクリック、またはファイルを選択し [開く]を選択します。

棋譜が着手順に再現されます。

棋譜の再生コントロール

次の操作によって、棋譜の再生や巻き戻し、一時停止などができます。

操作手順☛

●Windows95版の場合

①[表示]ー[再生コントロール]を選択し、[再生コントロール]の項目前にチェックマークをつけます。

手順③を実行すると、「再生コントロール」ウィンドウが開きます。

②[設定]ー[自動再生]を選択し、[自動再生]の項目前にチェックマークをつけます。

③ツールバーの[再開]ボタン、または[ファイル]ー[再開、再現]を選択し、表示されたウィンドウで棋譜のファイルをダブルクリックします。

次の「再生コントロール」ウィンドウが開き、棋譜が着手順に再現されます。



▶ [再生]ボタン

棋譜を再生します。

手順②で[自動再生]の項目前にチェックマークをつけなかったときには、[再生]ボタンをクリックすることで棋譜の再現が開始されます。

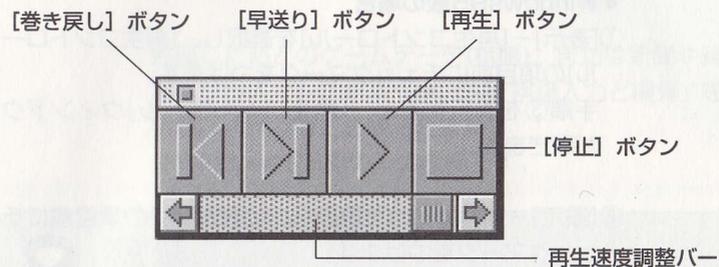
自動再生していない場合にはクリックすることにより一手ずつ再生していきます。

■ **【停止】ボタン**

棋譜の再生を停止します。

● **Macintosh版の場合**

データを読み込むと「再生コントロール」ウィンドウが表示されます。



各ボタンを選択することで再生をコントロールできます。「再生速度調整バー」では [←] 方向に動かすことで「高速」に、[→] 方向に動かすことで「低速」にすることができます。

■ **【一時停止】ボタン**

棋譜の再生を一時停止します。再度クリックすることで再生を再開します。

■ **【巻き戻し】ボタン**

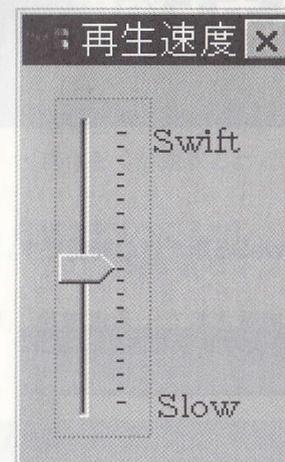
棋譜の再生を巻き戻します。

再生速度の調整

次の操作によって、棋譜の再生速度を調整できます。Windows95版では、自動再生時のみ有効です。Macintosh版では再生を始める前に設定してください。または「再生コントロール」ウィンドウで再生中でも設定できます。

①[設定]－[再生速度]を選択します。

「再生速度」を設定するウィンドウが開きます。



バーをクリックしたまま、「Swift」方向に動かすと再生速度が速くなります。

「Slow」方向に動かすと再生速度が遅くなります。

Macintosh版では [←] [→] をクリックして「高速」または「低速」方向にバーを動かし調整し [OK] を選択します。

2

棋譜入力と編集

この機能はWindows95版だけの機能です。Macintosh版にはありません。

新聞や雑誌などに掲載されている棋譜を、入力し保存しておくことができます。

棋譜の入力

次の操作によって、棋譜を入力することができます。

操作手順

①[ファイル]—[棋譜入力]を選択します。

次の「棋譜入力設定」ウィンドウが開きます。

②「対局者名」を入力し、「手合割」を選択します。

③[OK]を選択します。

④碁盤上に、着手順に基石を置いていきます。

[棋譜編集]—[一手前に戻す]を選択すると、手を一手前に戻すことができます。

操作をくり返すことで何手前にも戻すことができます。

⑤棋譜をすべて入力し、[棋譜編集]—[完了]を選択します。次の「対局情報」ウィンドウが開きます。

入力した棋譜についての情報を全角40字までで入力できます。

⑥[OK]を選択します。

「ファイル名を付けて保存」ウィンドウが開きます。

⑦ファイルを保存する場所を選択し、ファイル名を入力して保存します。

入力した棋譜が保存されます。

棋譜を再現する方法は、「五-1 対局棋譜の再現」を参照してください。

■ご注意

- 1) このプログラムおよびマニュアルの一部または全部を、無断で複製することは、法律により禁止されています。
- 2) このプログラムは、個人として使用するほかは、著作権法上、株式会社システムソフトに無断で使用することはできません。
- 3) この製品の仕様は将来予告なしに変更することがあります。
- 4) 内容には万全を期して作成していますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 5) 運用した結果については、4項にかかわらず責任をおいかねますので、ご了承ください。
- 6) 弊社は、本製品の無断複製・貸与・中古販売を一切認めておりません。

※MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft社の登録商標です。

※その他の製品名および社名は各社の商標または登録商標です。

システムソフトではインターネットのホームページにおいて、
さまざまな情報を提供しております。
ホームページのアドレスは以下のとおりです。
<http://www.systemsoft.co.jp/>

©1997 SystemSoft Corporation

商品に関する技術的なお問い合わせは……

ユーザーサポート専用電話 Tel 092-752-5278

月～金 9:30～12:00・13:00～17:00 (祝祭日を除く)

1997年 11月初版発行

 SystemSoft

株式会社 システムソフト

〒810 福岡市中央区天神3-10-30